

「親の学習」プログラム

2-③

## 「しつけ」ってなに？

「しつけ」ってなんでしょ？「うちは自主性にまかせるから」とか「放任主義だから」と「しつけ」は考えていないといわれる方がいます。ひとが社会の一員であるためには、ある一定のルールが必要になります。そのためには、やはり、「しつけ」は重要。家族の支えの中で、身につけていきます。

ワーク  
1

つぎの資料を見て、気づいたことをメモしましょう。

### エピソード

#### 公園のブランコ前で

ブランコは子どもたちみんなが大好きな公園の乗りもの。いつも4つあるブランコは子どもでいっぱい。そして、待っている子どもたちがたくさんいます。

ブランコが大好きな子どもたちも、ずっと乗っていたいのですが、みんなの遊具ですし、次の子どもが待っているのです。やはり、順番を教えることが必要になります。とはいえ、スムーズに子どもが応じるはずは、ないのです。

ある秋の日。さくら公園のブランコの乗り場で、よしきくん、かなこちゃん、まさこちゃん、ゆうたくんがブランコに乗って遊んでいました。みなもうすぐ3歳になる子どもたちです。

ブランコの近くには、次に乗りたくて待っている子どもたちがたくさんいました。それぞれ、並んだり、砂場の方でこちらをちらちら見たりしながら、待っていました。

さて、かなこちゃんもまさこちゃんもゆうたくんもお母さんに言われて、ブランコをしぶしぶ次の友だちにゆずりました。

ところが、よしきくんは「絶対いやだあ。」と言って、ゆずりません。次に乗りたい子どもたちもじっと見つめて待っていますが、「ぼくが先だから。」と言ってゆずりません。

おかあさんは、困ってしまいました…

それぞれの立場になって考えてみましょう。

- ①あなたがよしきくんだったらどんな気持ちでしょうか。
- ②では、おかあさんはどのような気持ちでしょうか。
- ③順番を待っている友だちなら、どのような気持ちでしょう。また、どうしますか。

メモ1

メモ2

メモ3

メモ4



ワーク  
**2**

グループに分かれて、話し合ってみましょう。

- ①エピソードのような場面で、困った経験はありますか。
  
- ②エピソードの場面で、もしあなたがおかあさんならどうしますか。
  
- ③現在、あなたが「しつけ」として「困っていること」はありますか？
  
- ④グループ内で「順番で遊ぶこと」「順番で楽しむ遊び」について話し合ってみましょう。

## ふりかえり

①話し合いで、参考になった意見や考えがありましたか。

②みなさんの話を聞いてどう思いましたか。

### 資料

しつけには次の2つのことがあります。

まず、子どもの行動に、ここまでは目をつぶるけどこれ以上はだめだよ、と枠を教えること。このとき、その枠は大きく大きく設定することがコツです。

もう一つは、あいさつや言葉遣い、起きる時間や寝る時間、食事の仕方、歯みがき、お片づけなど気持ちよくくらすためのマナーと習慣という「型」を教えていくことです。

本来、これらはどちらも楽しい行為です。枠があるということは、その範囲内では自由に行動できるということでもあります。また、今までできなかったことが、一つ一つ自分にもできるようになっていくことは、子どもにとって誇らしいことであり、よろこびです。

2005年3月19日毎日新聞掲載分 より加筆修正  
牛田美幸 独立行政法人国立病院機構善通寺病院小児科医師

## 資料

### 順番を守ること、ルールがわかることへの道。

「順番を守る、ルールを守る」大人には、大変なことではありませんが、子どもが守るようになるためには、いくつかのステップが必要です。ルール理解のために必要な力…。

## 資料

### 子どもの社会性の発達からみる遊びの分類

ひとり遊び：ひとりで遊ぶ。他の子どもに影響されずに遊ぶ。0歳～1歳ころ

傍観あそび：目では他の子どもの遊びをみて、遊んでいる。他の子どもの遊びに関心を持っている。1～2歳ころ

平行あそび：同じ場所で同じ遊びをしている。それぞれ、ひとりで遊んでいる状態。2～3歳ころ

合同あそび：一緒に同じ遊びを楽しむ。一緒に遊ぶことが楽しい。役割分担はしていない。5歳ころ

協同あそび：目的にむかってみんなで遊ぶ。分担したりテーマをもって楽しめる。小学校低学年ころ

